



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 186号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報 2018 年 3 月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

2018 年 3 月、4 月の主な予定表

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森	樹林公園
3 月	28 日 県共助社会づくり課説明会	17 日 定期保全	10 日(土) 富沢湧水調査保全 14 日 大坂ふれあいの森	2 日(第 3 回樹木再生検討会)
4 月	6 日 カタクリ・ニリンソウを訪ねるエコツアー 28 日(土) 第 11 回総会 29 日(日) つつじ祭り	21 日 春の野草観察とタケノコほり	18 日 大坂ふれあいの森 29 日 つつじ祭り 湧き水探検	幼樹苗を樹林地内で育成(3 月末予定)

1. 2018 年度 第 11 回総会の開催のお知らせ

日程 : 2018 年 4 月 28 日 午前 10 時 ~ 午後 2 時半

会場 : 白子コミュニティーセンター 3 階 視聴覚室

2017 年度を振り返り、会員皆さまが思いを込めて新たに 2018 年度の活動を進めていく総会にしていきたいと思えます。総会資料は後日、4 月初旬に配布します。

2017 年度の主な活動は、和光市環境マップを活用した「地学団体研究会と共催の日曜地ハイ」、9 月には「お茶の水女子大学地理学巡検」で 20 名の学生と長谷川直子准教授とのコラボレーション、学校応援団として身近な環境の紹介、新倉ふれあいの森や白子、樹林公園での各種観察会、各地の保全活動、和光樹林公園樹木再生検討会委員として樹林公園の再生を検討中、春のつつじ祭り、秋の市民祭りにも参加し活動を紹介しています。モニ 1000 里地調査の全国発表交流会、文理シナジー学会でも発表しました。



日曜地ハイ 白子から樹林公園観察

漆台地区では、カタクリ群生地が開発されることになり、4 月末にカタクリの球根を掘り出し、大坂ふれあいの森、富沢湧水、新倉ふれあいの森に移植を試み、3 月に発芽が見られ、新たな地域で生育し始めました。移植は、開発地ではやむを得ないことで、和光の貴重な植物の維持にふれあいの森が役立っています。

2. 川の国応援団美化活動団体として埼玉県から感謝状を授与されました

川の国応援団美化活動団体として、埼玉県より立派な「感謝状」を贈呈されました。

この賞状は、今までの活動実績及び今後の活動見込みを踏まえて推薦していただきました。会では、白子の富沢湧水や大坂ふれあいの森の湧水環境調査・保全を継続的に行っています。特に富沢湧水が 2015 年「白子宿特別緑地保全地区」の指定を受け、湧水と斜面林の保全を行い、白子川の大切な水源として次世代へ引き継いでいきたいと思います。



2 月 22 日に、松本市長にご報告に伺いました。